

# ■活用事例

---

1. 株式会社フジコー（福岡県北九州市）	15
2. 佐賀冷凍食品株式会社（佐賀県小城市）	16
3. 株式会社須崎屋（長崎県南島原市）	17
4. 株式会社果実堂テクノロジー（熊本県益城町）	18
5. 株式会社熊本アイディーエム（熊本県合志市）	19
6. 株式会社豊後大野クラスター（大分県豊後大野市）	20
7. 宮崎ひでじビール株式会社（宮崎県延岡市）	21
8. 株式会社オキス（鹿児島県鹿屋市）	22



# 子豚育成率向上を助ける光触媒空気浄化装置を用いた豚舎の開発、製造及び販売

認定日

平成31年2月8日

類型

⑤ ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

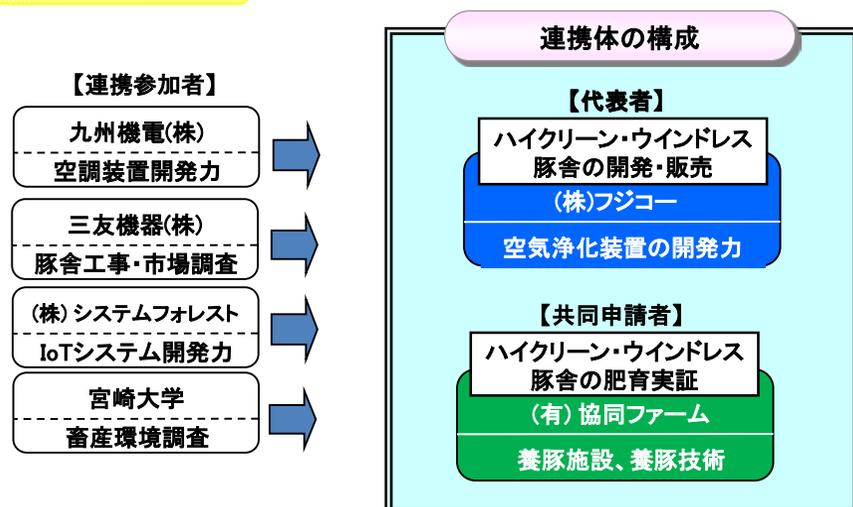
地域

福岡県北九州市

## 事業概要

- 養豚業向けに光触媒技術を活用した「ハイクリーン・ウィンドレス豚舎」を開発、製造・販売する。
- 清潔な豚舎環境を継続的に維持し、病気にかかりやすい子豚期の育成率を向上させる。

## 連携体の構成



## 事業の成果および今後の展開

- 畜産向け大型空気浄化装置を開発し、「ハイクリーン・ウィンドレス豚舎」として完成させ、協同ファームの農場内で実証試験を開始。
- 実証試験を通じて、子豚期の育成率の向上及び飼料要求率 (FCR)の改善等の評価を実証予定。
- 連携した農業者において豚の出荷頭数が増加することにより、今後5年間で売上高16,000千円の増加を期待。
- 新商品「ハイクリーン・ウィンドレス豚舎」は、マスコミにも取り上げられるなど、認知度が上がっている。今後、国内を中心に180,000千円 (令和6年度目標)の売り上げが期待される。

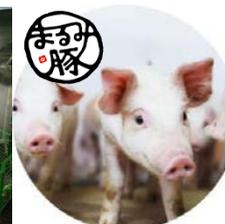
【補助金活用】農商工等連携事業 (令和元年度)



【ハイクリーン・ウィンドレス豚舎】



【コンテナ豚舎内部】



【子豚】

## 事業者の声

これまでは処分されていた子豚を救いたい!



連携参加者を含め、連携体を形成できたことで、高度な技術連携が行え、連携体内部でスムーズな展開が行えた。

## 株式会社フジコー

代表者: 萩尾 寿明 住所: 福岡県北九州市戸畑区中原西2-18-12  
 電話: 093-871-3724 URL: <https://www.kfjc.co.jp/>  
 2017年4月 知財功労賞 経済産業大臣賞受賞  
 2018年1月 地域未来牽引企業選定  
 第7回ものづくり日本大賞 特別賞受賞



# 地元産米と新鮮具材を使用した 冷凍おにぎりの商品開発と販路開拓

認定日

平成21年6月29日

類型

④新規用途開拓による  
地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

地域

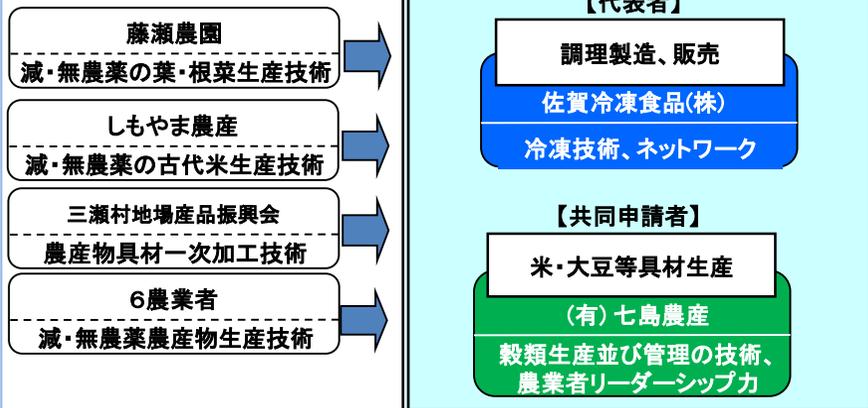
佐賀県小城市

## 事業概要

- 地元米や採れたて野菜を原料とした安心・安全な冷凍おにぎりを開発し、販路開拓を行う。
- 商品内容・提供の仕組みに裏付けされた高付加価値ブランドの形成を目指す。

## 連携体の構成

### 事業推進体制



## 事業者の声



㈱七島農産

・計画をたてたことで、連携体との情報共有が出来、自社での活動にも役立てることが出来た。

## 事業の成果および今後の展開

- 農工商等連携事業で、冷凍おにぎりを開発。その後も、新商品の開発を進め、「佐賀牛すき焼きおにぎり」として完成させた。積極的に展示会等へ出展した結果、売上高1,000万円を達成。
  - 香港「シティスーパー」など海外への輸出も順調に伸びている。
  - 関東方面を中心に販路開拓を行った結果、百貨店・生協・自衛隊等からの受注が増加し、製造部門にて社員5名を新たに雇用した。
  - 「冷凍おにぎり」について、継続して販売・展示会出展を行った結果、冷凍食品業界の認知度が上がり、地域内の同業者も新商品開発、販路開拓等活発になるなどの波及効果がみられた。
- 【補助金活用】農工商等連携事業（平成21～23,25年度）  
ものづくり補助金（平成30年度）  
JAPANブランド育成支援事業（平成30～令和元年度）



【佐賀牛すき焼きおにぎり】【展示会出展時の様子】【香港での販売の様子】

## 佐賀冷凍食品株式会社

代表者：古賀 正弘 住所：佐賀県小城市芦刈町芦溝128-3  
電話：0952-66-4521 URL：https://kanesue-saga.jp

2017年12月 地域未来牽引企業選定

2019年 6月 はばたく中小企業300社選定

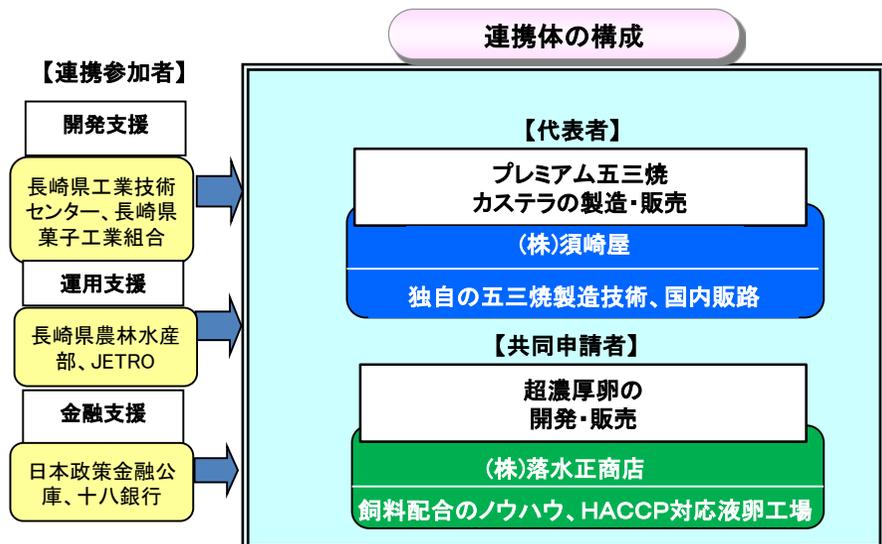


<b>超濃厚鶏卵を使った プレミアム五三焼カステラ開発・販売事業</b>		認定日	平成31年2月8日
類型	③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大	地域	長崎県南島原市

### 事業概要

●五三焼カステラ専用開発する超濃厚卵を使用し、本物志向の消費者を対象に濃厚で後味がすっきりした『プレミアム五三焼カステラ』の開発、販売を目指す。

### 連携体の構成



### 事業者の声

長崎カステラを全国へ！世界へ！！



・計画をたてたことで、事業の整理、連携体との認識の共有ができ、スムーズに展開できた。  
・交付金や融資が活用でき、財政部分で大いに助かった。

### 事業の成果および今後の展開

- 五三焼カステラ専用の超濃厚卵を開発し、新商品「プレミアム五三焼カステラ」として完成させ、積極的に展示会等へ出展した結果、1年目で7000万円の売上増加を達成。5年後に売上高を4倍とする増加計画の足がかりができた。
  - カナダ・シンガポールなど海外への輸出も令和元年10月から開始。
  - 連携した農業者においても原材料の鶏卵の売上が伸び、売上高は2000万円の増加。
  - 関東方面を中心に販路開拓を行った結果、大手商社からの受注が増加し、製造部門にて社員5名を新たに雇用。
  - テレビ・雑誌等マスコミにも多く取り上げられた結果、認知度が上がり販路開拓が活発になるなどの効果がみられた。
  - 小売店である銀座和光にて、銀座のはちみつを使用したオリジナル商品「銀座かすてら」が採用された。
- 【補助金等活用】食料産業・6次産業化交付金（令和元年度）



【超濃厚卵】



【プレミアム五三焼カステラ】

### 株式会社 須崎屋

代表者：代表取締役 伊藤 剛

住 所：長崎県南島原市有家町大苑84

電 話：0957-82-2855 URL：http://suzakiya.com/



# I o Tの活用による自動環境制御・耐風雪圧設計の農業用高機能ハウスの開発・販売事業

認定日

平成29年2月3日

類型

⑤ I Tなどの新技術を活用した生産や販売の実現

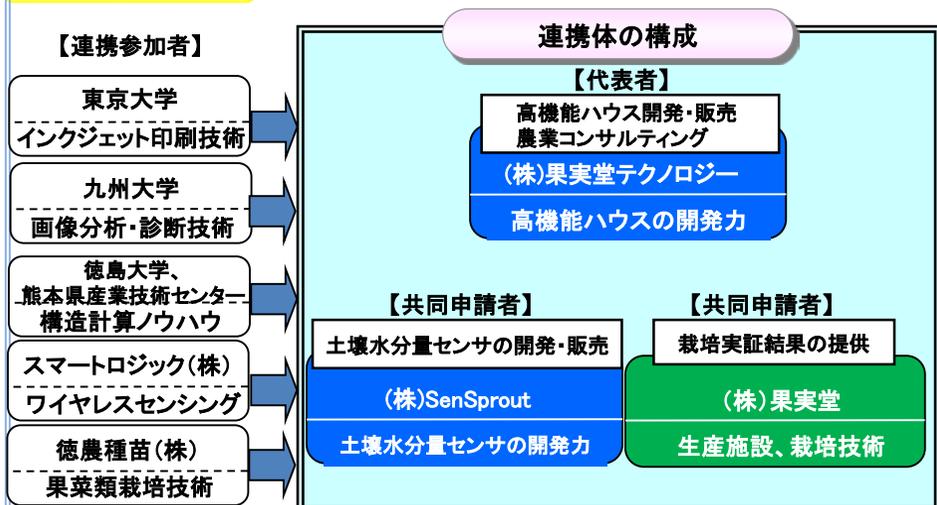
地域

熊本県益城町

## 事業概要

- 農業参入企業等向けに「低コスト」、「耐候性」、「環境制御」の特徴を有する高機能ハウスの開発・販売
- 導入企業に対するワンストップ農業コンサルティングサービスを提供する

## 連携体の構成



## 事業者の声



連携体の相互の技術と技術を融合し、開発を拡大させる良いプラットフォームとして活用させていただき、感謝しております。補助金の利用で開発費用の運用でも助かりました。

## 事業の成果および今後の展開

- 低コスト・耐候性に優れる「高機能ハウス」の開発・販売
  - 気候や土壌、作物に合わせて最適な仕様を今後も調査研究を続ける。
  - 一方、販売実績は累計300棟。
  - 東大発ベンチャーSenSprout社「土壌水分センサー」×「高機能ハウス」
  - 当社の徹底した水管理と組み合わせることで土壌水分センサーを改良し、土壌の可視化、遠隔灌水システムが完成。
  - この遠隔灌水は、果実堂のベビーリーフ栽培において、ハウス40棟当たり年間1,000時間の労務負担を削減。
  - 今後も異なる土壌で試験し改良を実施していく。
  - 「農業コンサルティング」は、新規参入・既存農業法人、国内外を問わず需要が高まる。今後も拡大していく。
  - 国内にとどまらずアジア圏での事業展開を進める。
- 【補助金活用】農工商等連携事業（平成29～30年度）



高機能ハウスで高い生産性



土壌水分センサーで遠隔灌水



ベビーリーフ

## 株式会社果実堂テクノロジー

代表者：代表取締役 高瀬貴文

住所：熊本県上益城郡益城町田原1155-5

電話：096-289-8883 URL：<https://www.kajitsudotech.co.jp>



# 大葉の選別品質の均一化と省力化をはかる 高性能自動選別システムの開発並びに製造販売

認定日

平成31年2月8日

類型

⑤ ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

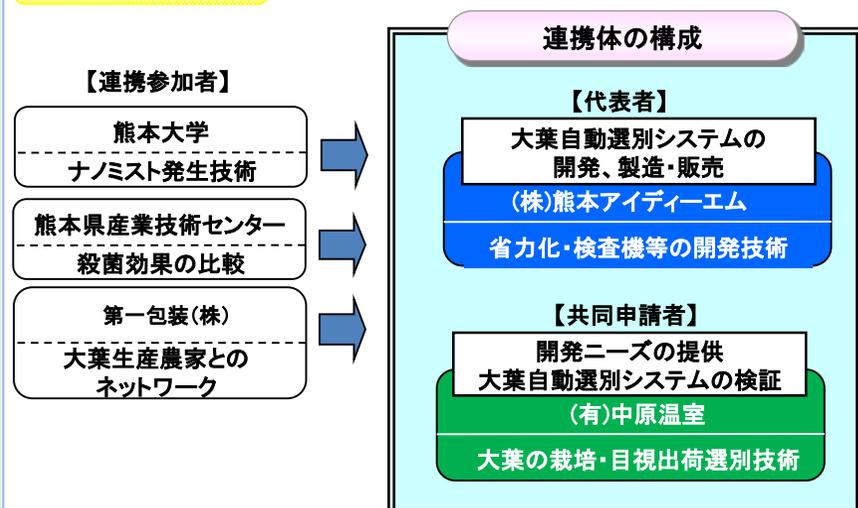
地域

熊本県合志市

## 事業概要

●大葉の生産農家向けに、外国人技能実習生をはじめ大葉の選別に不慣れな方でも使え、高性能画像選別システムとユーザー固有のスタイルに対する柔軟なカスタム性に優れた自動選別集積システムを開発し提供する。

## 連携体の構成



## 事業者の声

農家の抱える課題を革新技術で解決したい！



認定に向け連携農業者と話し合いを進める中で、農家の課題を理解することができました。今後は農業分野全体に対して様々な角度からアプローチできると考えております。

## 事業の成果および今後の展開

- 農工商等連携事業を活用し、パラレルリンクロボット導入、画像処理システム、連携プログラムを開発し、大葉選別機のプロトタイプを完成させた。今後は連携先の中原温室で実証を行いながら、継続的に改良及び選別システムの前後に搭載できるオプション開発（ナノミストによる表面殺菌と鮮度保持技術等）を進める。
  - 今後は、展示会出展、パンフレット・動画等販促ツール作成、DM・HP更新、大葉農家へのヒアリング調査等を実施して販路拡大を図り、5年で1億3千万円の売上を目指す。
  - 省力分労働力を収穫にまわすことによる収穫量アップと選別機能向上による高単価規格へのシフトにより、農業者の売上増加を図る。
  - 農業分野は柑橘類の包装機など5年前から取組んでおり、自治体やJAへ向けたPR活動を通して業界の認知度を高める取組みを検討中。若者の就農に大きな波及効果をもたらす事ができると考えている。
- 【補助金活用】農工商等連携事業（令和元年度）



【従来の手作業による  
検査選別パッキング作業】



2020年3月：開発した大葉選別機主要機構部  
【高性能画像処理とパラレルリンクの連携システム】

## 株式会社熊本アイディーエム

代表者：高倉 功

住所：熊本県合志市福原1-13

電話：096-349-5001

URL：<http://www.idm.ne.jp>

2018年12月 地域未来牽引企業選定

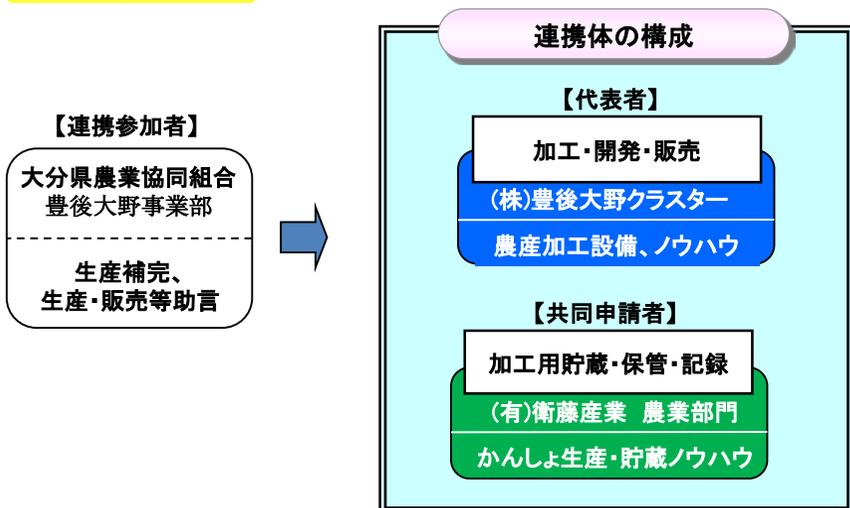


高糖度かんしょ「べにはるか」の規格外品を活用した、ペースト、パウダー等 介護・医療向け食品の開発・販路開拓		認定日	平成25年10月16日
類型	①規格外や低未利用品の有効活用	地域	大分県豊後大野市

### 事業概要

- 高糖度のかんしょ「べにはるか」の規格外品を加工して、栄養・機能性を高めた介護・医療向け食品を開発する。
- 糖分と食品添加物を加えず加工し、美味しく栄養豊かな介護・医療食として、かんしょの加工品を提供するもの

### 連携体の構成



### 事業者の声



農商工連携事業を活用する事により、地域の農業生産者の課題であった規格外野菜の商品化ができました。さらに展示会への出展など商品開発から販売促進まで多くのことを学ぶことができました。

### 事業の成果および今後の展開

- 農商工連携の事業を活用することにより商品開発力が付き、展示会、商談会に対応できるようになった。
  - こだわりの商品を扱うセレクトショップ「カルディ」「北野エス」から受注を頂くようになった。今後は受注量を増やせるよう販売促進に努めたい。
  - 子育て世代を1名雇用。今後も子育て世代を含め全従業員が地元で働きやすい環境を整えたい。今期は賃金アップを予定。
  - 規格外の甘藷の干し芋、ペーストに加えてJ Aおおいたからの依頼で大分のブランドである「甘太くん」の規格外甘藷の冷凍焼き芋加工を行っている。昨年HACCPを取得。
  - 異常気象による過剰生産野菜を抱えて困っている生産者の声を聞くことが多くなった。農商工連携事業のノウハウを生かして、規格内野菜を活用した商品開発にも取り組みたいと考えている。
- 【補助金活用】農商工等連携事業（平成25年度～29年度）  
ものづくり補助金（平成30年度）



【皮付き干し芋(ちよび)】



【さつまいもペースト】

### 株式会社 豊後大野クラスター

代表者：後藤 龍彦 住所：大分県豊後大野市三重町宮野4845  
電話：0974-22-0772 URL：http://b-cluster.jp



# 宮崎県産ホップ、麦芽を使用した オール宮崎産ビール、発泡酒の開発・販路開拓

認定日

平成29年2月3日

類型

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

地域

宮崎県延岡市

## 事業概要

- 地元産のホップと麦芽、特産のフルーツ等を使用したオール宮崎産のビール、及び発泡酒を開発、販路開拓する。
- オール宮崎産とするため、新たにホップを生産する農家を募集。ハーブ農家の協力を得て、宮崎での栽培技術の確立を目指す。

## 連携体の構成



## 事業者の声



・第三者目線で事業計画の評価を受ける事で、実現可能性が格段に向上した。  
・生産拡大に伴い設備投資が必要になったが、補助金を活用する事でリスクを軽減出来た。

## 事業の成果および今後の展開

- 令和元年に新商品「九州CRAFT」シリーズを完成させ、令和元年6月～12月までの7か月間で新商品売上高5,800万円を達成。
  - 既存販路に加え、キリンビールの業務用PET容器生ビールサーバーシステム「タップマルシェ」を中心に販売数量を拡大。
  - 今後は、関東圏のみならず、九州圏内市場、シンガポール等海外市場にも販路を拡大し、計画終了の令和4年5月期において年間1億円の新品売上高を達成する見込み。
  - 連携農業者はホップに加え新たに大麦の栽培を開始し、原材料としての売上は計画終了時点において230万円になる見込み。
  - 急激な販売量増加に伴い、ビール生産能力が追い付いておらず、令和2年度に加工場を新設する。その結果、新商品は180KL（売り上げ換算約1億円）まで増産可能となる。
- 【補助金活用】農商工等連携事業（平成30年度）  
食料産業・6次産業化交付金（令和2年度）申請中



【ホップ畑】



【新商品：九州CRAFT】

## 宮崎ひでじビール株式会社

代表者：永野 時彦 住所：宮崎県延岡市行滕町747-58

電話：0982-39-0090 URL：<https://hideji-beer.jp/>

2017年12月 地域未来牽引企業選定

2018年2月 地域経済牽引事業計画承認



# 芋麴用「乾燥サツマイモダイス」や「大隅の農産物を活用した乾燥粉末」の開発と販路開拓

認定日

平成21年2月20日

類型

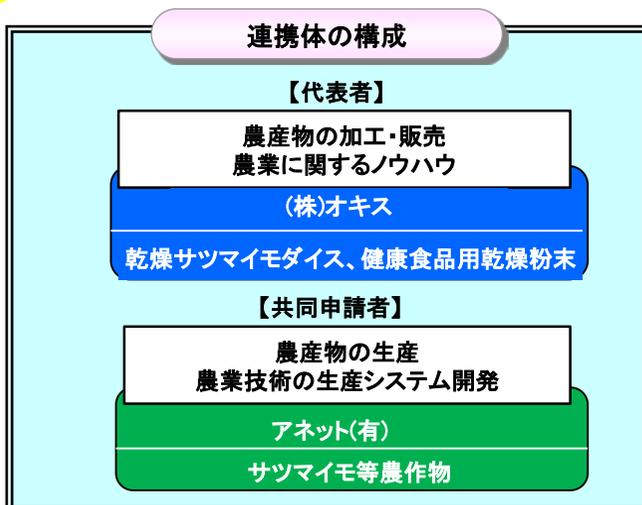
地域

鹿児島県鹿屋市

## 事業概要

- より風味の出る新たなサツマイモの品種の導入による「乾燥サツマイモダイス」の品質向上と販路開拓を行う。
- 乾燥加工技術を活かし、スイオウやゴマ、しいたけなど大隅の農産物を活用して、健康食品用の乾燥粉末素材を開発する。

## 連携体の構成



## 事業者の声



・認定を受けたことで、営業展開で有利になり、大手メーカーとの契約にもつながった。また、補助金や融資がスムーズに活用できるようになり財政部分で助かった。

## 事業の成果および今後の展開

- 鹿児島県の酒造メーカーと工業技術センターがサツマイモダイスを活用した芋麴を開発したが、サツマイモダイスを大量製造できる工場がなかった。弊社がサツマイモダイスの量産化に成功し、酒造メーカーに提供することで、サツマイモを100%活用した芋焼酎が製造できるようになった。
  - サツマイモダイスの製造をきっかけに、大隅産農産物を活用した乾燥野菜粉末の可能性に着目。「ほうれん草パウダー」等を開発し、関東方面を中心に販路開拓を行った結果、大手食品メーカーとの取引が開始した。
  - 大隅産野菜の更なる活用法として、海外展開に着目。乾燥野菜と調味料を組合わせて、食べ方の提案をすることで海外展開を加速化させる。2020年10月野菜パウダーの殺菌ができる生産設備を新設予定。FSSC認証取得予定。
- 【補助金活用】農商工等連携事業（平成21,23年度）



【加工工場】



【サツマイモダイス】



【ほうれん草パウダー】

## 株式会社オキス

代表者：岡本 孝志 住 所：鹿児島県鹿屋市下高隈町5454-11

電 話：0994-45-2508 URL：<https://okisu.co.jp/>

2015年7月 南日本経済賞受賞

2020年1月 6次産業化アワード奨励賞受賞